2018年度 事業報告

活動の概要：定例研究会は６回開催した。内、見学会は２回開催した。第14回パネル展と講演会が、公益財団法人大幸財団の地域の学術文化振興助成の対象に採択された。シンポジウム、パネル展、ウェブサイトなどで研究会の活動を知った方から５名の加入申し込みがあった。研究会会員の高齢化が進んでいる。

１．総会

◆第26回総会　2018/05/19　（名城大学　校友館第１会議室）　出席者：30名

１．2017 年度(平成29年度)事業報告　大橋公雄

２．2017 年度(平成29年度)決算報告　朝井佐智子

研究会会計　特別会計（田中基金）・シンポジウム会計・書籍会計

３．2017年度(平成29年度)監査報告　植田泰司

研究会会計　特別会計（田中基金）・シンポジウム会計・書籍会計

４．2018～2019年度役員・分掌組織、役員及び分掌幹事（案）　大橋公雄

５．新会長挨拶、新役員紹介

６．2018年度(平成30年度)事業計画（案）　山田　貢

７．2018年度(平成30年度)予算（案）　朝井佐智子

８．その他

記念講演　「アツタ号復元模型の制作」　梅本　良作

２．定例研究会

◆第152回定例研究会　2018/05/19　（名城大学　校友館第１会議室）　出席者：30名

研究報告、調査報告

［152-11-01］「ベルリンの通信技術博物館-産業遺産　維持・運営の工夫-」　渡辺治男

［152-11-02］「明治末期から大正期における神岡鉱山と地域社会」　入江隆亮

［152-11-03］「文章表現ほかの資料に基づく考案設計と設計製図　水車編」　水野信太郎

◆第153回定例研究会　2018/07/22　（トヨタ産業技術記念館　ホールＡ）出席者：27名

研究報告、調査報告

［153-11-01］「足尾銅山と田中正造」　朝井佐智子

［153-11-02］「世界文化遺産 富岡製糸場と荒船風穴をめぐる」　橋本英樹

◆第154回定例研究会・見学会　/2018/09/16　（覚王山・城山地内、昭和塾堂）　出席者：21名

見学会

［154-11-01］「覚王山・城山地内、昭和塾堂見学」　案内：高木傭太郎、宮司・吉田玄

◆第155回定例研究会　2018/12/02（名古屋都市センターまちづくり広場ホール）出席者：46名

研究報告、調査報告

［155-11-01］「キソコーチ號」について　杉山清一郎

◆第156回定例研究会　2019/01/27　（とよた市民活動センター研修室）　出席者：24名
研究報告、調査報告
［156-11-01］「最近発見の3台の手回しガラ紡機の意義と価値」　天野武弘
［156-11-02］「イギリスのダーヴェント渓谷の産業遺産」　石田正治

◆第157回定例研究会・見学会　2019/03/24（国友鉄砲の里資料館.長浜鉄道スクエア）出席者：17名
見学会
［157-11-01］「国友鉄砲の里資料館見学」　案内：館長・吉田一郎
［157-11-02］「長浜鉄道スクエア見学」　自由見学

３．シンポジウム、その他の催物

◆第６回さんぎ大学講話会（共催）　2018/07/22　（トヨタ産業技術記念館　ホールＡ）
講話①「ドイツ・ルール工業地帯　－産業遺産と地域活性化―」講師：オリバー・マイヤー
（愛知教育大学教授・会員）
講話②「トヨタ創業試作工場　～クルマづくり出発の地～」講師：榊原　研一
（トヨタ産業技術記念館館員）

◆第14回パネル展と講演会　テーマ：「モダン都市名古屋の形成」
・パネル展　開催時期：2018/11/27（火）～12/09（日）
会　場：名古屋都市センターまちづくり広場・企画展示コーナー　来場者：1,620名
･講演会　開催日：2018/12/03（日）
会　場：名古屋都市センターまちづくり広場・大研修室　参加者：81名
基調講演　「モダン都市名古屋の形成」　講師 浅野伸一（会員）
一般講演　「市民市長大岩勇夫の都市経営」　講師 真野素行（会員）
特別講演　「モダン都市名古屋を彩った建築」　講師 瀬口哲夫（名古屋市立大学名誉教授）

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第37回　参加者：64名
テーマ：　「日本の自動車120年と刈谷から歩んだ豊田喜一郎のクルマづくり」
開催日：2019/02/23（土）13:00～16:50
会　場：　トヨタ産業技術記念館　ホールＡ
［自動車館特別ガイドツアー］2019/02/23（土）10:30～11:30　（ガイドツアー参加者：23名）
基調講演　「日本の自動車 120 年～その歩みと豊田喜一郎」　講師：鈴木一義
（国立科学博物館　産業技術史資料センター長）
講演　「自動車事業へのチャレンジ～栄生から刈谷、そして拳母へ」　講師：　飯島修
（トヨタ産業技術記念館 館長）
質疑応答・パネル討議　会場からの意見交換　コーディネータ 八田健一郎　（会員）
＜関連見学会＞　［創業期試作工場見学会］　2019/03/11(月)　参加者 21 名
愛知製鋼(株)刈谷工場内にある、トヨタ自動車試作１号車を完成させた旧試作工場の見学

◆「ものづくり文化再発見！ウォーキング」大会（協力）
第20回：中区コース　実施日：2018/05/27（土）参加者：505名

東別院⇒西別院⇒大須演芸場⇒安藤七宝店⇒名古屋市科学館⇒茶屋新四郎宅跡⇒伊藤圭介出生地⇒名古屋城正門前

第21回：日進コース　　実施日：2018/11/18（日）参加者：232名

名鉄日進駅⇒伊藤段ボール工業所⇒旧市川家住宅⇒マスプロ美術館⇒浅田八剣社⇒レトロでんしゃ館⇒プライムツリー赤池

４．刊行物

◆研究会誌『産業遺産研究』第25号　2018/07/22　　発行230部

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第37回講演報告資料集　2019/02/23　発行150部

◆会報（印刷物及び電子版にて発行）

第70号2018/04/15発行、第71号2018/07/15発行、第72号2018/10/20発行、第73号2019/01/15発行

５．その他

◆幹事会・役員会･その他の会議

第１回幹事会　2018/06/04　メール

1. 佐々木享没後５周年記念シンポジウム の後援名義使用について

第２回幹事会　2019/02/20　メール

1. 例年総会後に行っている講演を、次回は田中名誉顧問の追悼集会とすることについて
2. 出版について企画する委員会設置の準備を行い役員会で提案することについて

第１回役員会 2019/04/20（土）13:00～　瑞穂生涯学習センター

1. 第 28 回総会準備など、

◆その他の委員会・打ち合わせ等

2017年度の会計監査 2018/04/07 名古屋市東生涯学習センター　第１集会室

2018年度の会計監査 2019/04/05 名古屋市市政資料館　第１集会室

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第37回 実行委員会

2018/05/28、07/23、09/24、11/24、2019/01/28　５回実施　他メールを随時

◆第14回パネル展「モダン都市名古屋の形成」勉強会 会場：名古屋都市センター13F 会議室

第１回 2018/02/11(日) 第２回 2018/04/14(土) 第３回 2018/06/09(土) 第４回 2018/08/04(土)

第５回 2018/09/08(土) 第６回 2018/10/06(土) 第７回 2018/11/03(土)

◆第15回パネル展「ものづくり中部の革新者たち」（仮称）　勉強会

第１回 2019/02/01(金)　名古屋都市センター13F 会議コーナー

第２回 2019/03/30(土)　とよた市民活動センター研修室

第３回 2019/04/23(火)　名古屋都市センター13F 会議コーナー

◆『産業遺産研究』編集委員会　主にメール会議にて適宜実施

◆「中部産業遺産研究会　ニュースレター　電子メール版」

月に2回更新　年25回ほど発行

◆「中部産業遺産研究会　ウエブサイト」　随時更新

◆図書館への寄贈・献本　国立国会図書館、愛知県図書館、鶴舞中央図書館等14か所

◆会員異動数及び会員数　2018年度の入会者５名、退会者８名、

2019年3月31日の会員数は個人121名、法人２団体、計123

2019年度　事業計画

１．総会

第27回（2019年度）総会　2019/05/18（名城大学校友会館　第１会議室）

２．事業計画

①諸活動を通じて産業遺産及び関連分野の調査研究を行う。②産業遺産研究の普及、発展に努める。③産業遺産の保存と普及発展に努める。

（１）産業遺産の調査研究

・地域の産業遺産の発掘調査に努める。
・ものづくり再発見の英語版ガイドブックをウエブサイトで広く宣伝し活用に努める。
・刊行物の研究会誌、シンポジウムの冊子を電子化して会員及び広く一般の人にも利用に供する。
・

（２）定例研究会

・原則として奇数月の日曜日の午後に研究報告や講座など開催する。
・見学会は原則として９月と３月に開催する
・内容は産業遺産に関わる研究発表・調査報告（産業遺産の見方・調べ方）、産業遺産の保存問題、研究会誌・会報・ニュースレターの原稿と編集、シンポジウム・見学会・その他の催物の企画、案内、文献・資料の紹介、委員会・役員会の報告、幹事会・事務局関係、近況報告等
・産業遺産調査カードを利用するなどして、気軽に発表が誰でも出来るように努める

（３）シンポジウム、見学会、その他の催物

・第15回2019年度パネル展、講演会を企画し、名古屋都市センターと共催する。
・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第38回の企画、開催する。
・「さんぎ大学」をトヨタ産業技術記念館と共催する。
・2019年度「ものづくり文化再発見！ウォーキング大会」に協力する。
・その他、必要に応じて会員外も参加できる見学会等を計画し、開催する。

（４）刊行物

・研究会誌『産業遺産研究』第26号を発行する。
・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第38回の開催と講演報告資料集を発行する。
・「会報」は、年４回発行し、定例研究会、見学会などの案内と報告を掲載する。
・「ニュースレター電子メール版」を随時発行する。

（５）役員会・幹事会・委員会

・役員会・幹事会は適宜開催する。検討事項が発生した時には、電子メール会議等によって行う。
・研究会誌編集委員会、パネル展の勉強会、シンポジウム実行委員会など各委員会を適宜開く。
・会員名簿を作成して、会員に配布する。

（６）諸活動

・研究会のウェブサイトの運営と管理をする。
・当会発行の書籍等の電子化、ブログからの情報発信について関係する会員を中心にルールづくりを検討する。

（７）その他

・研究会の新会員の募集を積極的行う。法人の賛助会員に努める。
・各種団体の出版助成金申請やシンポ・パネル展等への助成金申請に取り組む。